

2026年8月22日

ジーエルテクノホールディングス株式会社

個人投資家様向け 会社説明資料

東証STD 255A



GLTECHNO HOLDINGS

- 1982 ○----- ガスクロ工業株式会社
(現：ジーエルサイエンス株式会社) へ入社
- 2006 ○----- 同社 大阪支店2課長に就任
- 2007 ○----- 上海へ海外出向 (島津技迺商貿有限公司副總經理)
- 2012 ○----- 同社 執行役員 営業本部副本部長に就任
- 2015 ○----- 同社 取締役社長に就任
- 2024 ○----- 経営統合に伴い、
ジーエルテクノホールディングス株式会社
代表取締役社長に就任



代表取締役社長
長見 善博

1968

分析機器事業で創業
ガスクロ工業設立 ※現ジーエルサイエンス



1976

半導体事業へ進出
ガスクロ・ヤマガタ設立 ※現テクノクオーツ

1990~

分析機器事業
ジーエルサイエンスへ商号変更・上場

1991~

半導体事業
テクノクオーツへ商号変更・上場

2013

自動認識事業
ジーエルソリューションズ設立

2024

経営統合
ジーエルテクノホールディングス設立

60年近くにわたり、
時代の変化とともに事業を拡大。

2024年、経営統合により
新たな成長ステージへ。



半導体、
だけじゃない。

GLT GLTECHNO HOLDINGS

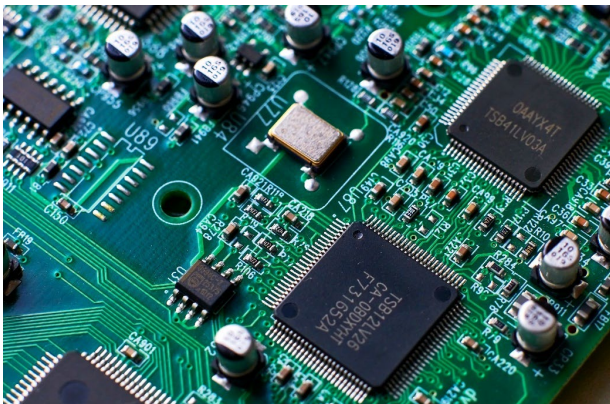
テクノクオーツ株式会社

半導体事業

主な活用領域

 パソコン・スマートフォン

 AI  モビリティ



ジーエルサイエンス株式会社

分析機器事業

主な活用領域

 食品・飲料

 環境・水質  医薬品



ジーエルソリューションズ株式会社

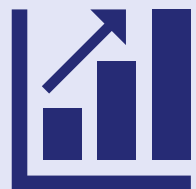
自動認識事業

主な活用領域

 セキュリティ関連システム

 公共システム

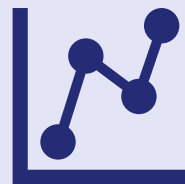




売上高

471億円

(2026年3月期)



営業利益

71億円

(2026年3月期)



連結子会社数

14社

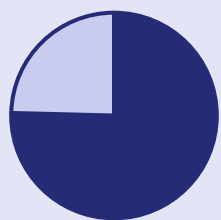
(2026年3月末時点)



従業員数

1,245名

(2026年3月末時点)



自己資本比率

75.4%

(2026年3月末時点)



自己資本利益率

11.4%

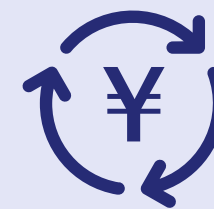
(2026年3月期)



予想株価収益率

14.2倍

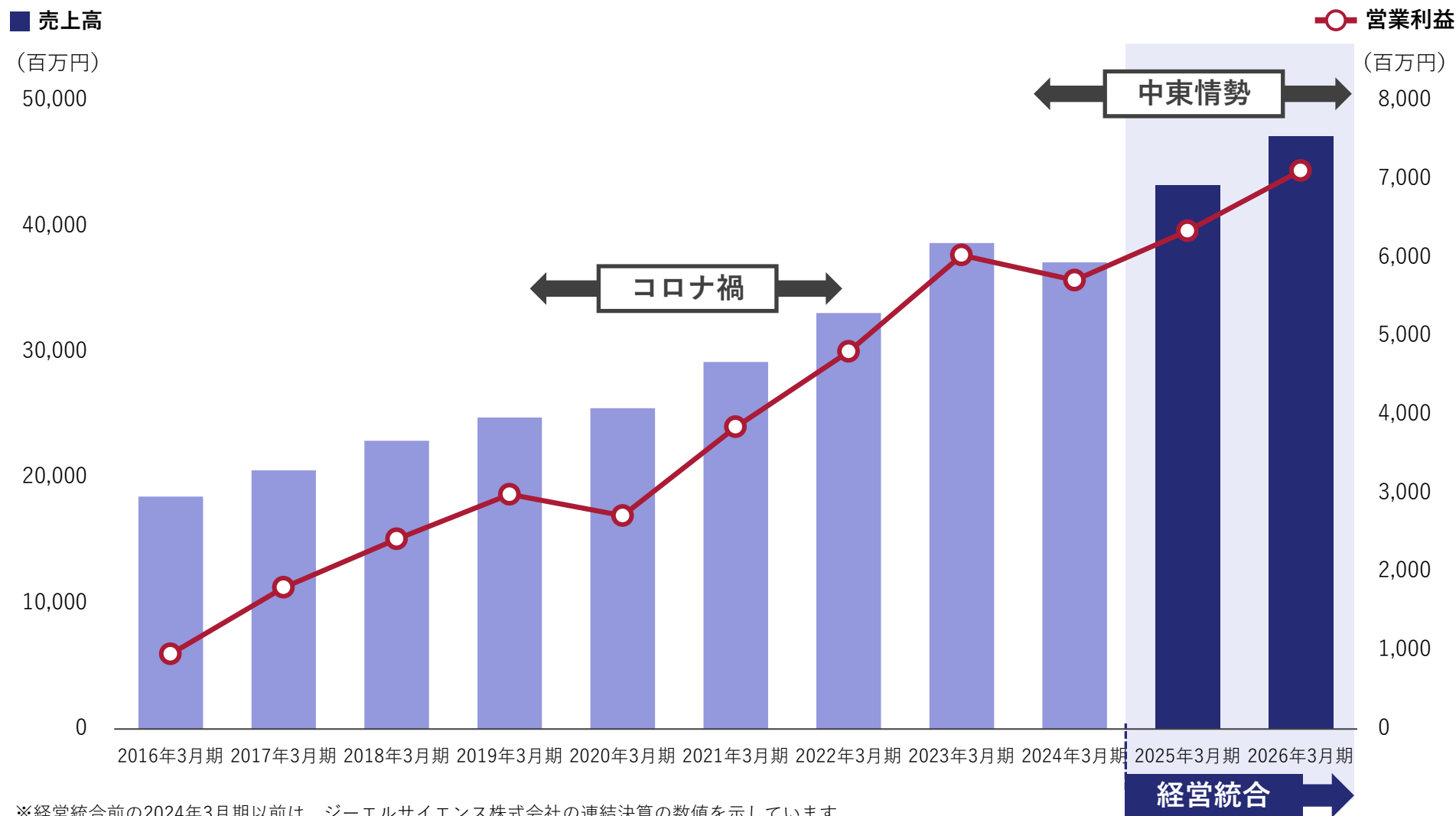
(2026年6月末時点)



ストック型収益

7割以上

コロナ禍や中東情勢などの外部環境下でも着実に成長



売上高
(2026年3月期)

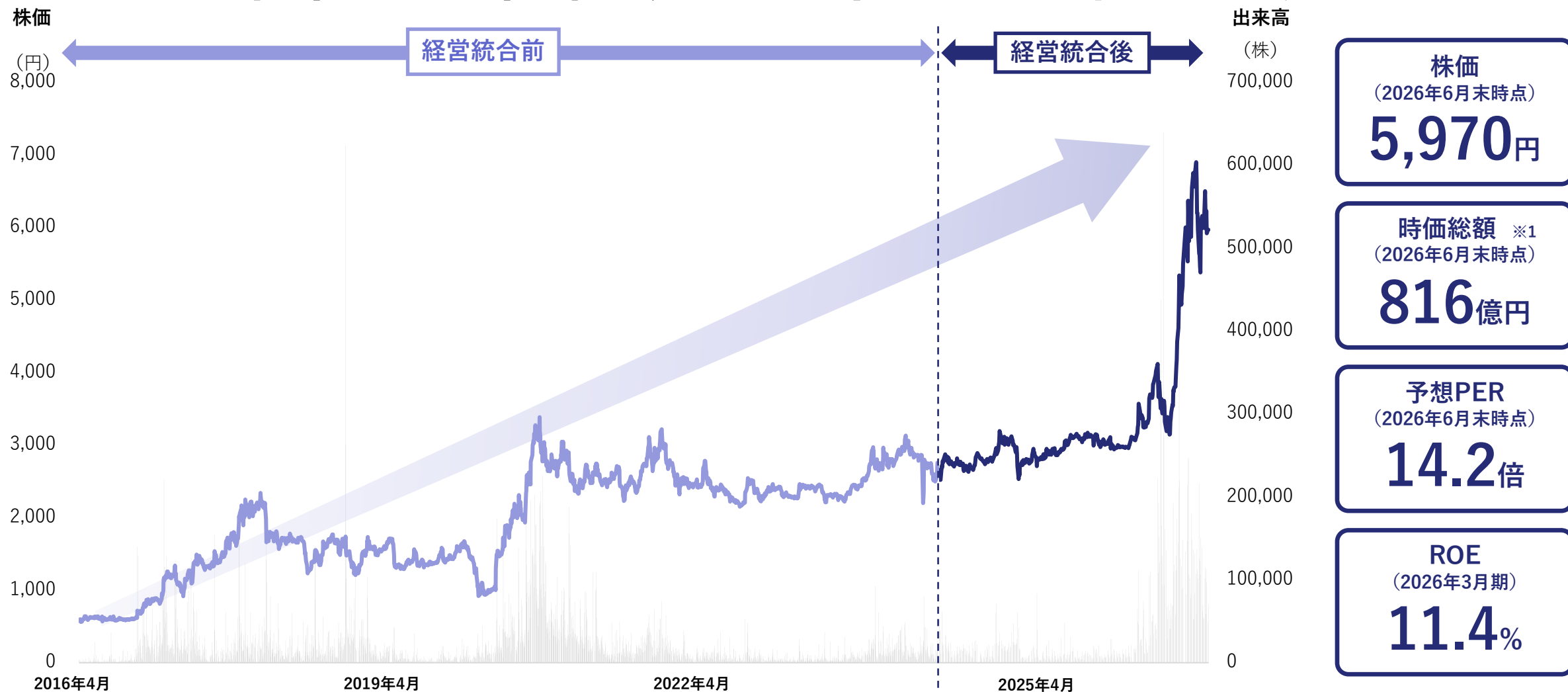
471億円

営業利益
(2026年3月期)

71億円

※経営統合前の2024年3月期以前は、ジーエルサイエンス株式会社の連結決算の数値を示しています。

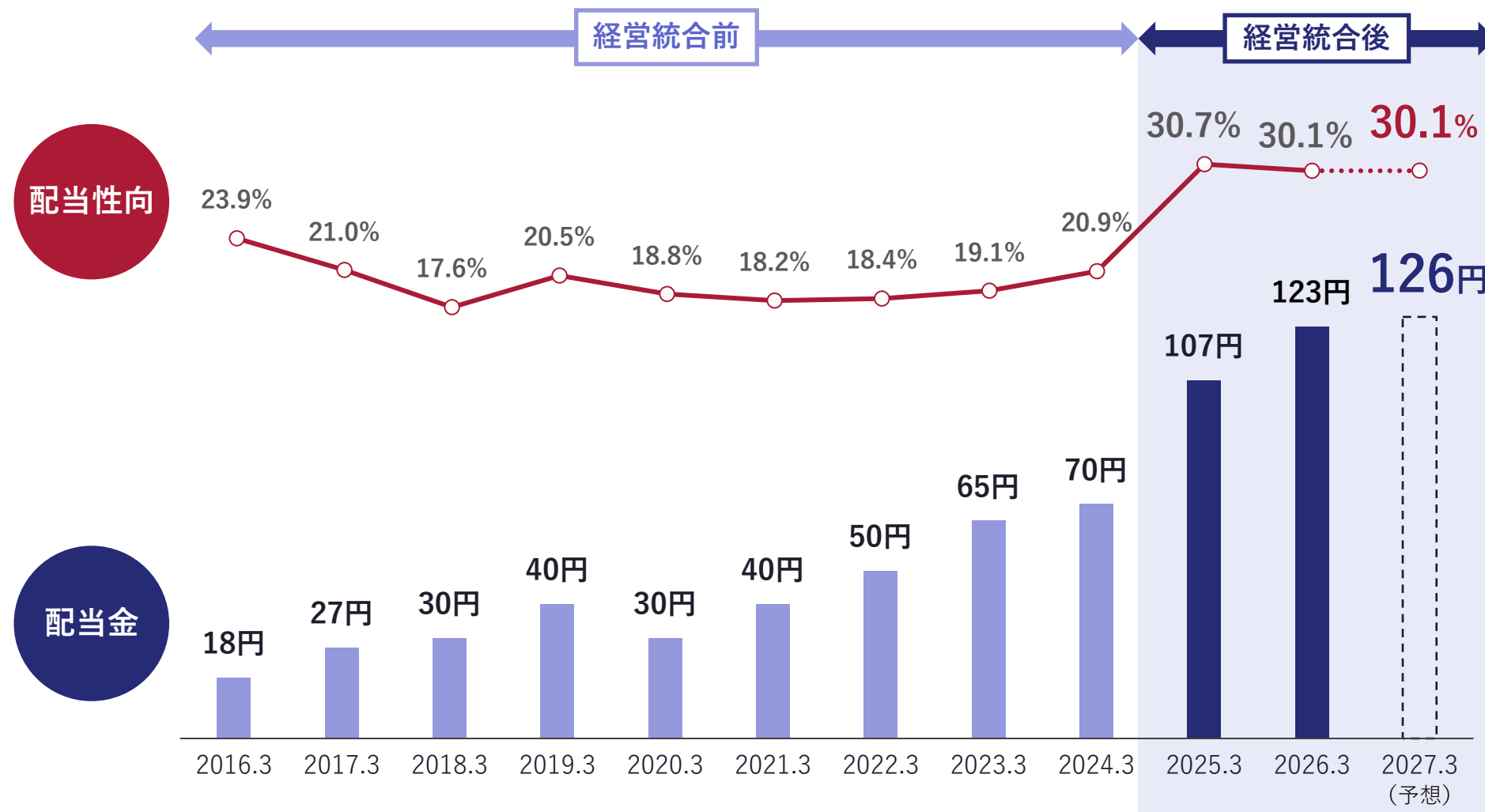
株価・時価総額も10年間で10倍に上昇



※1 時価総額は、自己株式を含んだ金額で示しています。

※2 2024年9月26日まではジーエルサイエンス株式会社の株価・出来高、2024年10月1日以降はジーエルテクノホールディングス株式会社の株価・出来高で示しています。

安定的かつ継続的な増配



配当性向

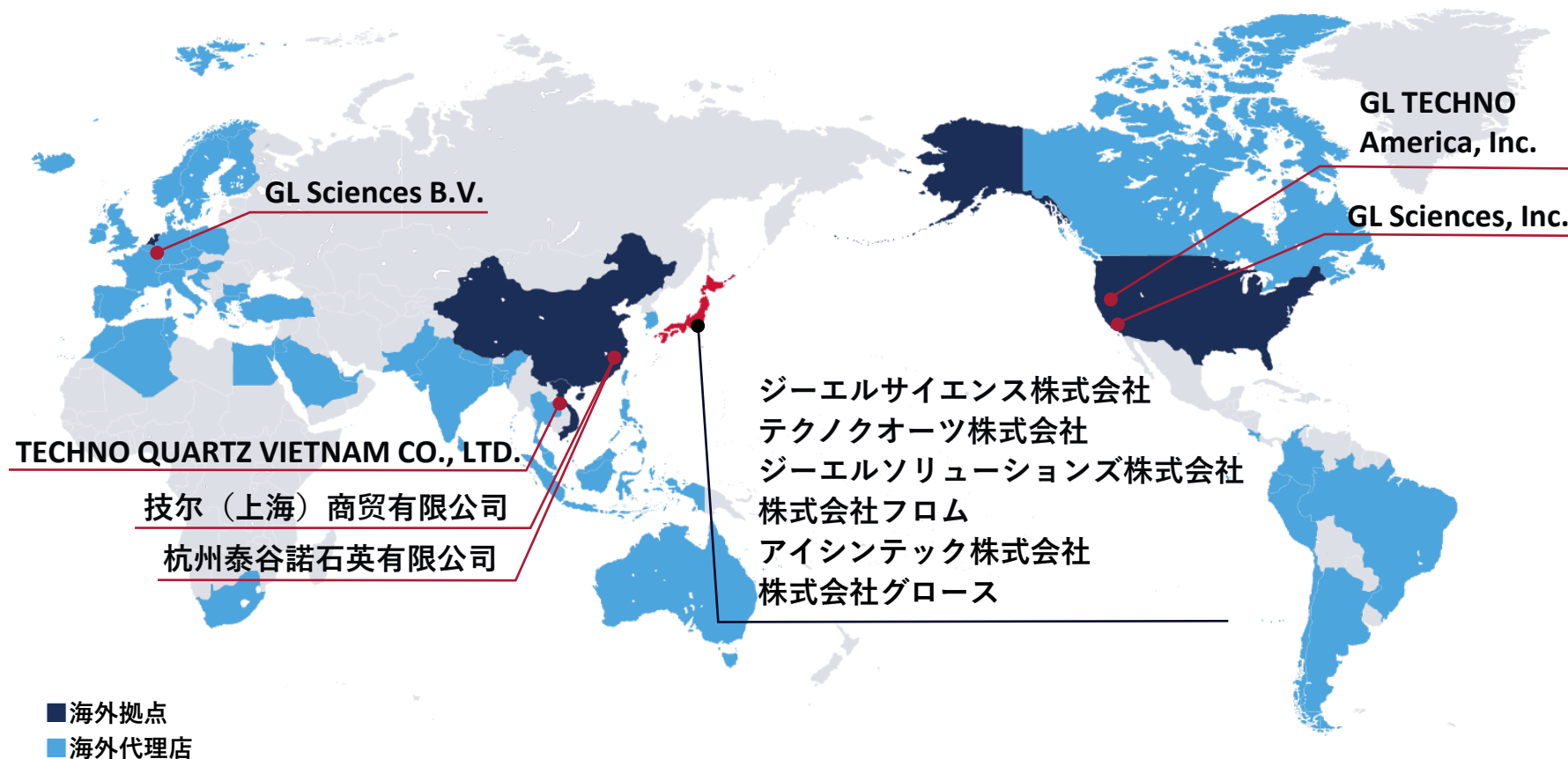
30%以上

配当金

(2027年3月期 予想)

126円

国内外に拠点をもち、グローバルに事業を展開



海外売上比率
(2026年3月期)

42.4%

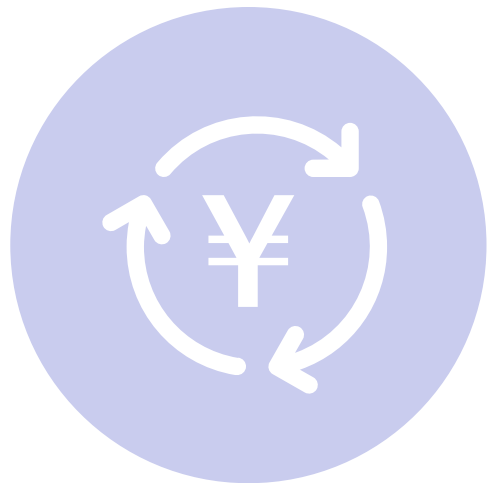
連結子会社数
(2026年3月末時点)

14社

従業員数
(2026年3月末時点)

1,245名

Point 1



**売上の7割以上が
ストック型収益**

Point 2



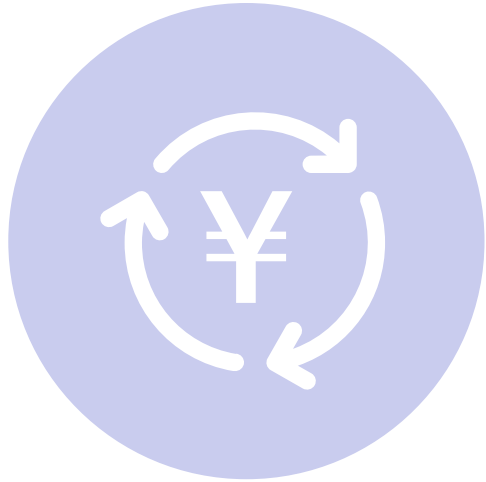
**成長投資
拡大フェーズ**

Point 3



**7年連続の
安定増配**

Point 1



売上の7割以上が
ストック型収益

Point 2



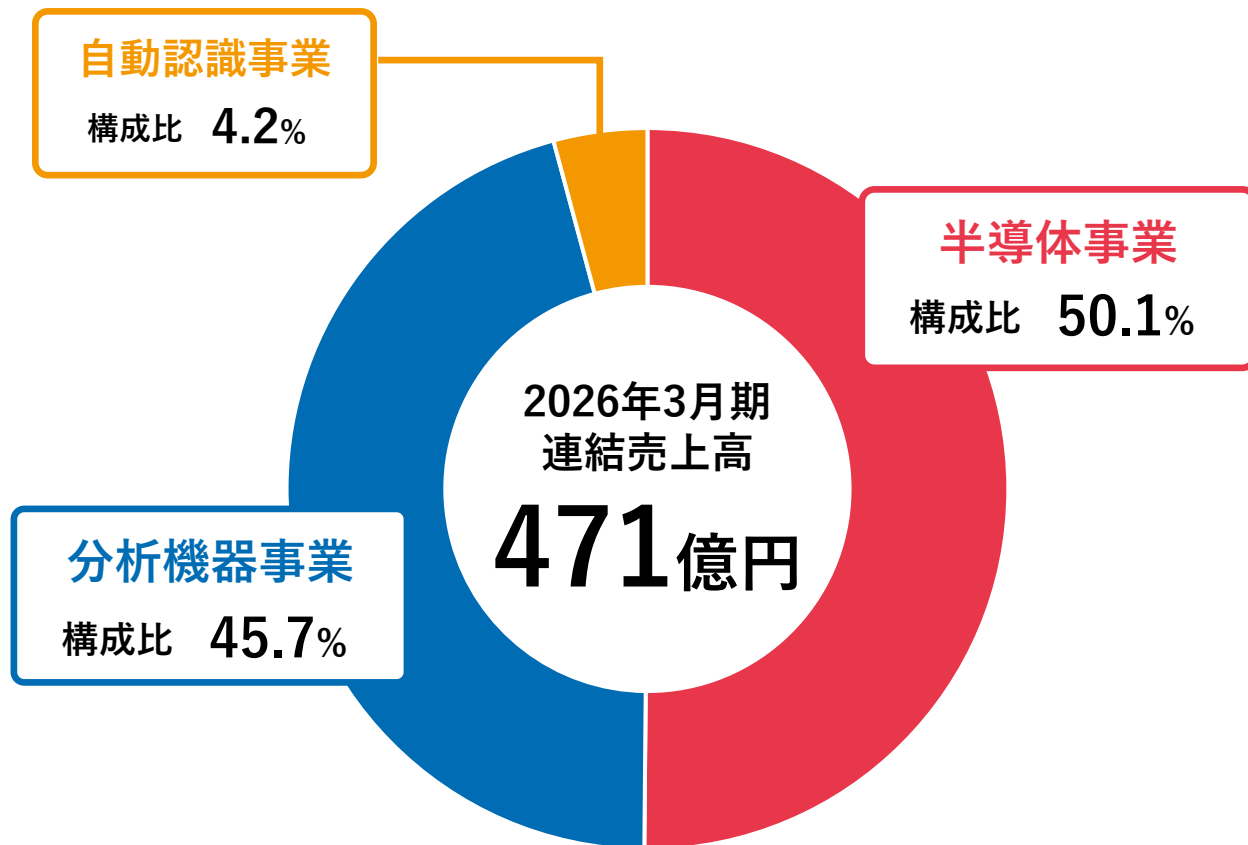
成長投資
拡大フェーズ

Point 3



7年連続の
安定増配

グループ全体のストック型収益は、売上高の7割以上



石英ガラスを加工し、半導体製造装置向け製品を販売

当 社



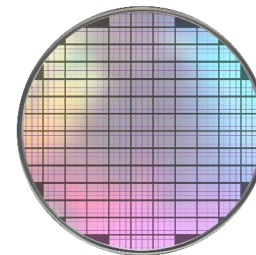
石英ガラス・結晶シリコンなどの
精密加工部材の製造・販売

半導体製造装置 メーカー



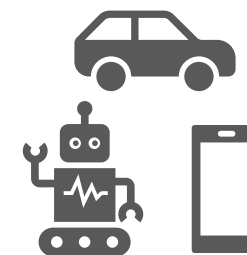
半導体装置の
開発・製造

半導体 メーカー



半導体の
設計・製造

市場



多様な製品へ
組込

主に「前工程」で使用する消耗品の製造・販売

ウエハ製造

酸化・成膜

露光

エッチング

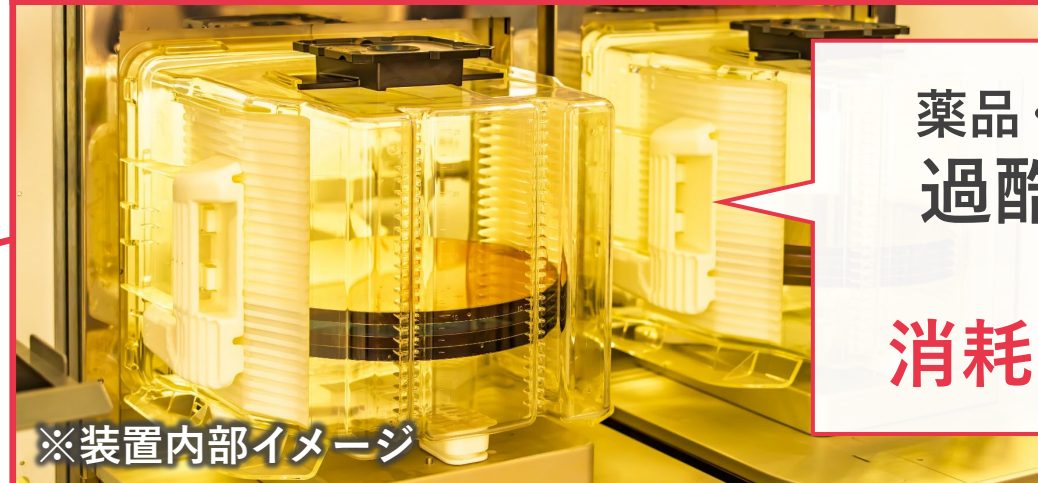
回路形成

後工程

半導体製造装置



装置の内部部品



※装置内部イメージ

薬品・高温など
過酷な環境

消耗が激しい

売上の**約8割**が
消耗品のストック型ビジネス

2つのコア技術により複雑で精密な加工を実現

- 素材に合わせてスピードやパワーを細かく調節し、幅**0.01mm**の世界で機械の動きを制御しながら加工に応じたプログラムを設計します。

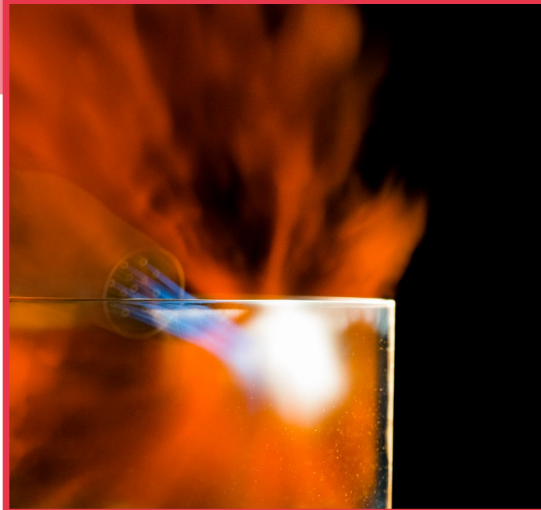
素材



機械加工



火炎加工



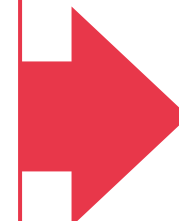
検査



洗浄



梱包



- 石英ガラスは耐熱性に優れており、成形加工に必要な温度は**2,000℃**以上。長年培ってきた知識と経験で、精巧な仕上がりを実現します。

成分分析に必要な装置と消耗品を製造・販売



「何が」「どのくらい」
含まれているか
わからない

計測・検査

売上高の6割以上が消耗品



カラム

装置を含めて、取扱点数は 約40,000点

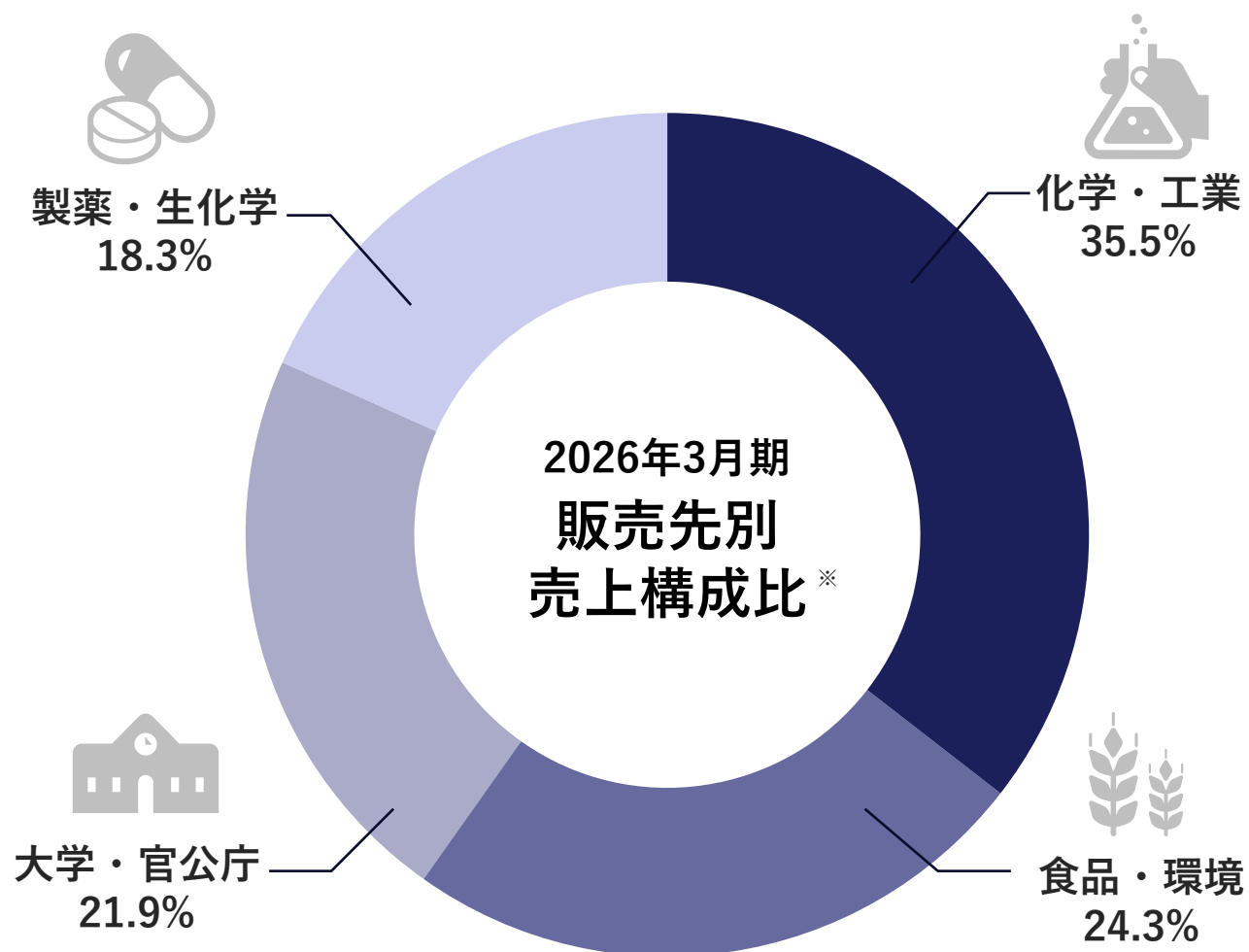


分析
装置



前処理
装置

多様な顧客層により安定的な収益構造を確立



多種多様な顧客基盤



PFAS検査義務化に伴い、消耗品の需要拡大を見込む



市場の追い風

定期検査の義務化により
継続的な需要を見込む

確かな実績

2026年3月期 水質検査に使う
消耗品の販売数量は、
前期比 **約2倍に急成長**

今後の備え

需要増に対応する
安定的な供給能力を担保

Point 1



売上の7割以上が
ストック型収益

Point 2



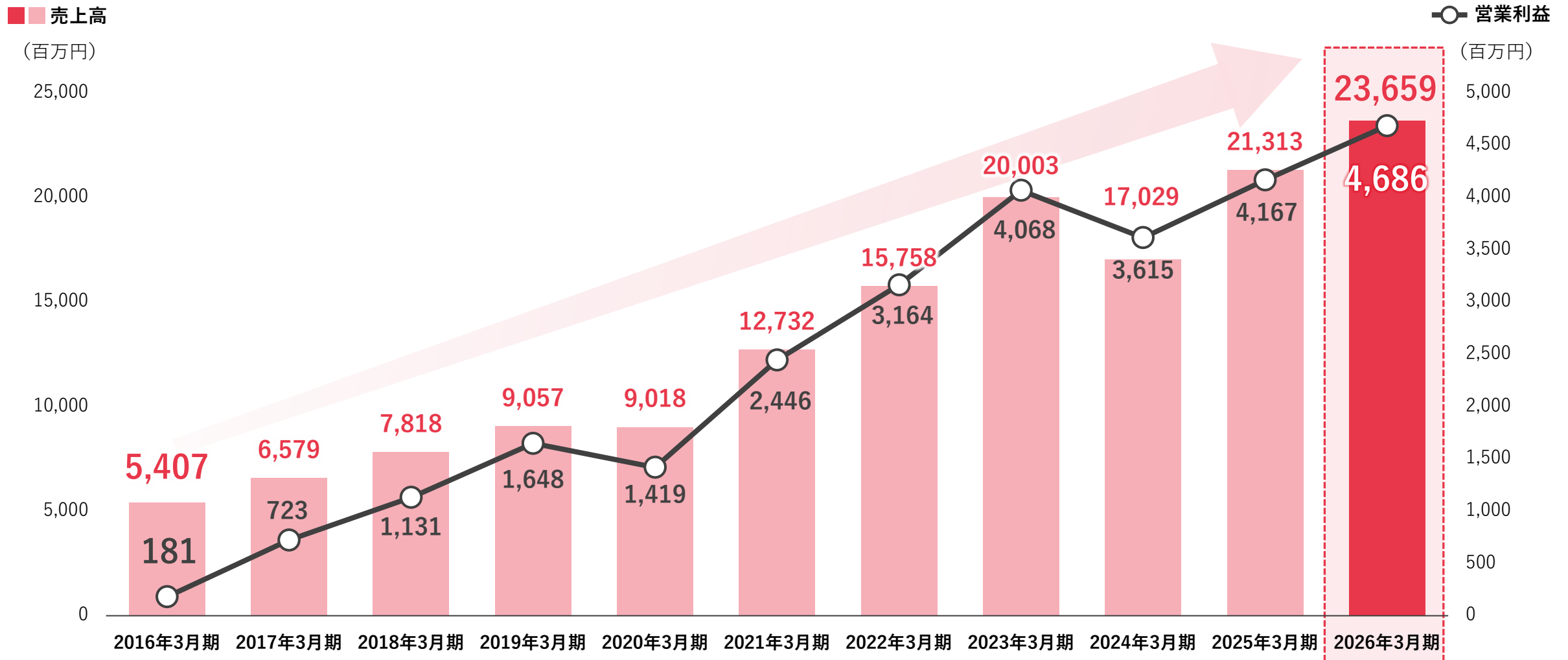
成長投資
拡大フェーズ

Point 3

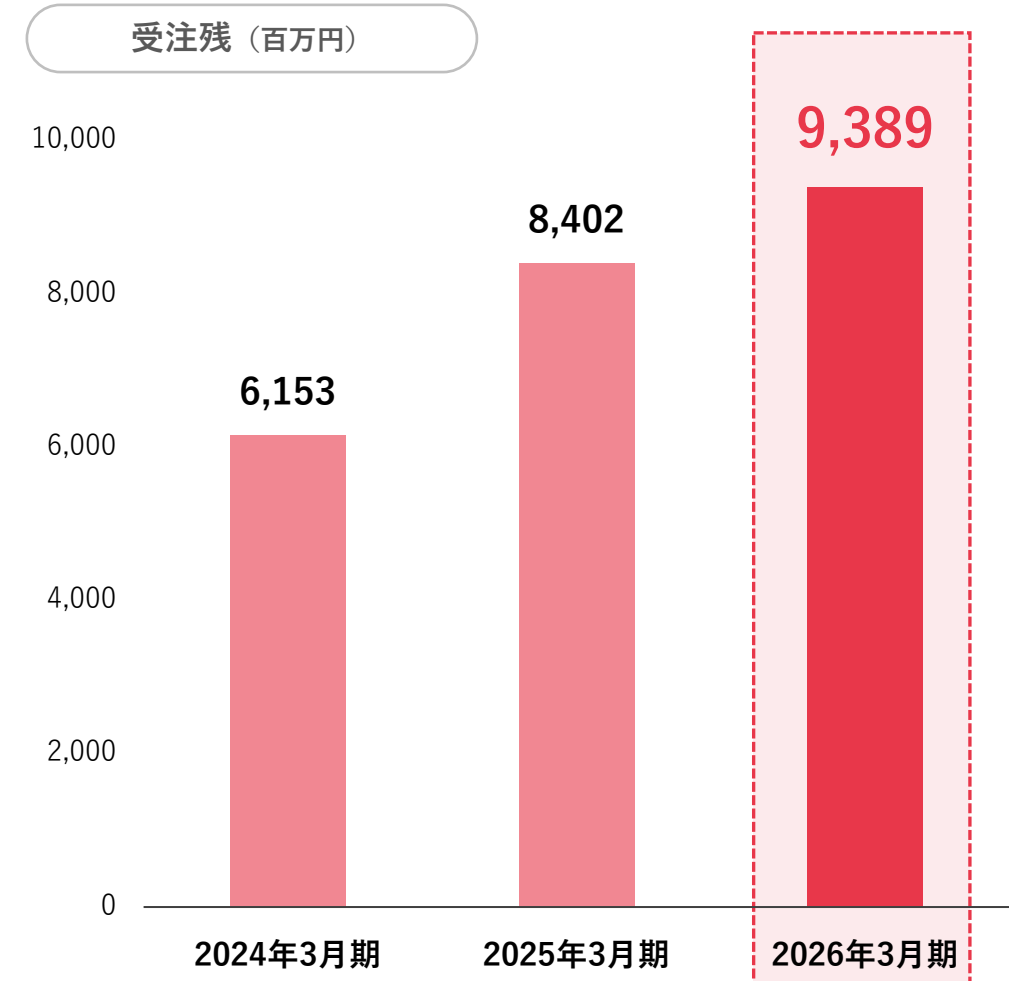
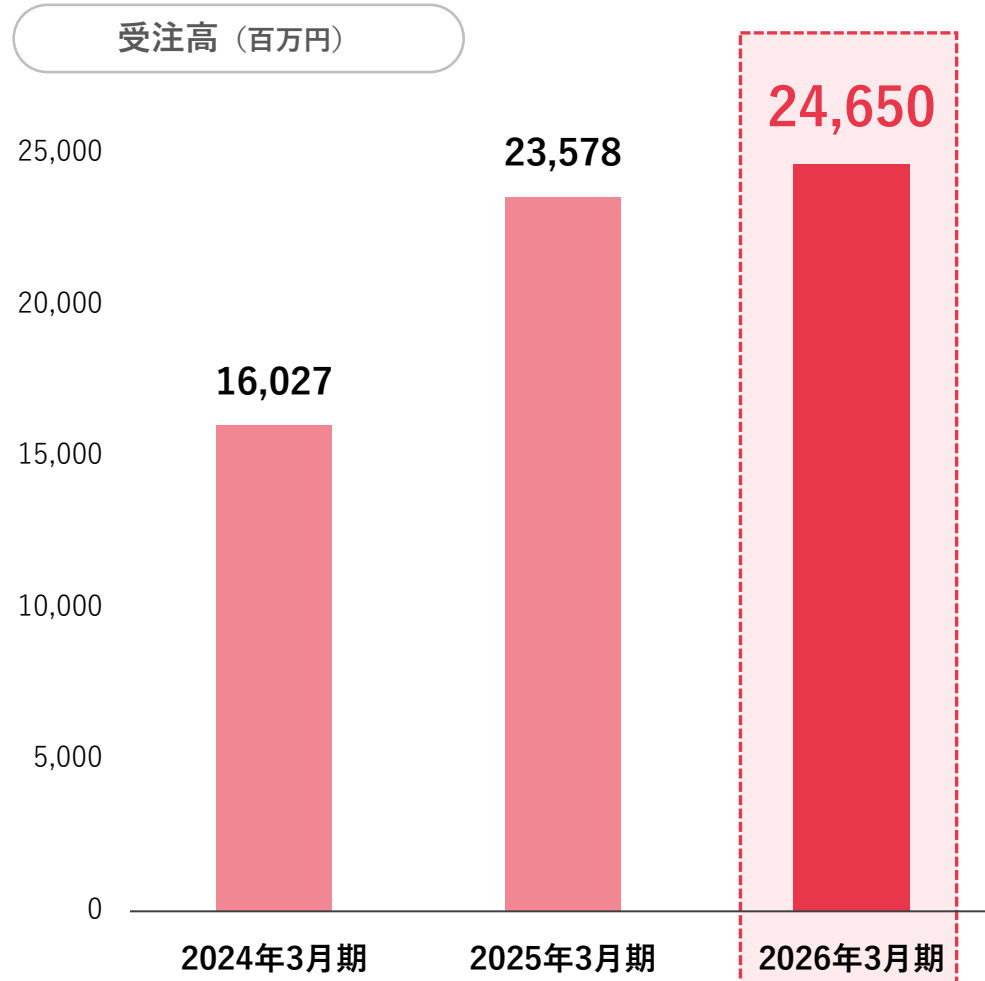


7年連続の
安定増配

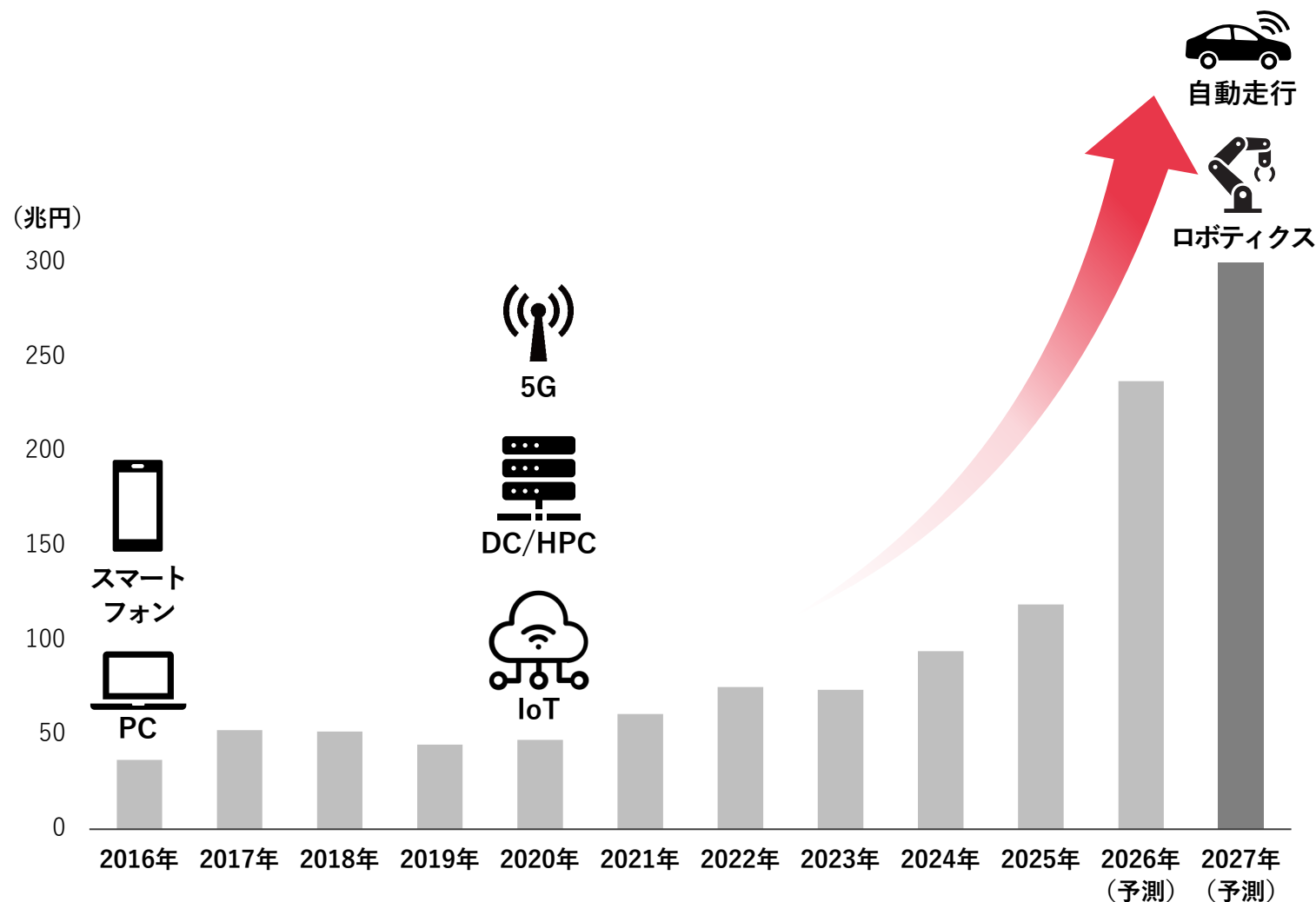
過去最高額となる売上高236億円・営業利益46億円を達成



受注高・受注残も急増し、成長加速へ



2027年世界半導体市場は約300兆円規模へと急成長



世界半導体市場規模

2025年

約**119**兆円

2027年予測

約**300**兆円

さらなる市場拡大へ

中期経営計画の3か年において約120億円の投資を実施

新設

投資50億円



ベトナム 半導体事業生産棟

増設

投資40億円



山形 半導体事業生産棟

増設

投資20億円



福島 半導体事業生産棟

増設

投資12億円



埼玉 分析機器事業生産棟

迅速な意思決定により、ベトナム工場を早期に新設

新設

機械加工



※完成イメージ

目的

半導体需要の拡大に伴う
供給体制強化

投資総額

約50億円

完全稼働時
生産能力

年間売上高 約30億円

操業開始
時期

2027年初頭

機械加工製品の量産拠点を福島県喜多方市に増設

増設

機械加工



写真奥：喜多方第二工場

目的

自動化ラインの増設による
生産量の最大化と
品質の安定化

投資総額

約20億円

完全稼働時
生産能力

当該拠点の生産能力 約1.5倍

操業開始
時期

2026年5月

火炎加工製品の拠点を山形県山形市に増設

増設

火炎加工



目的

火炎加工による
高付加価値製品への
対応力強化

投資総額

約40億円

完全稼働時
生産能力

火炎加工の生産能力 約2倍

操業開始
時期

2027年1月

高付加価値製品の生産拡大拠点を埼玉県入間市に増設

増設



目的	特注分析装置の 生産能力拡充
投資総額	約12億円
完全稼働時 生産能力	当該拠点の生産能力 約3倍
操業開始 時期	2025年10月

積極的な新製品リリースにより市場シェア拡大へ



世界最高水準の
耐アルカリ性・安定性を備えた
HPLCカラムを開発



開発投資

2026年3月期は **8** 件の新製品を上市

海外拡大

販売商材のラインアップ拡充により、
グローバル市場での販売力を強化

シェア拡大

独自の開発品×豊富な商材による
総合提案力で、
最適なソリューションを提供

Point 1



売上の7割以上が
ストック型収益

Point 2

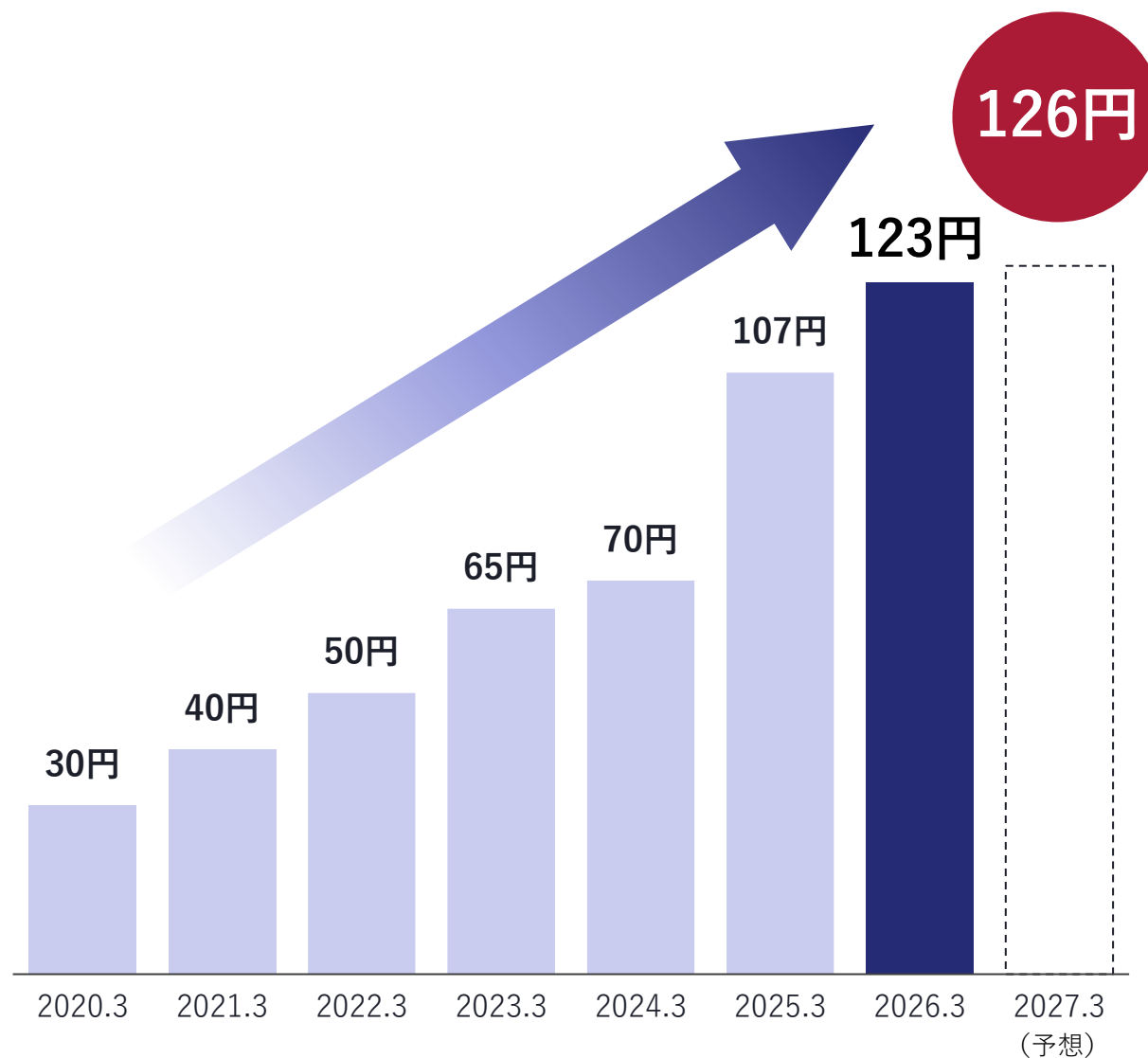


成長投資
拡大フェーズ

Point 3

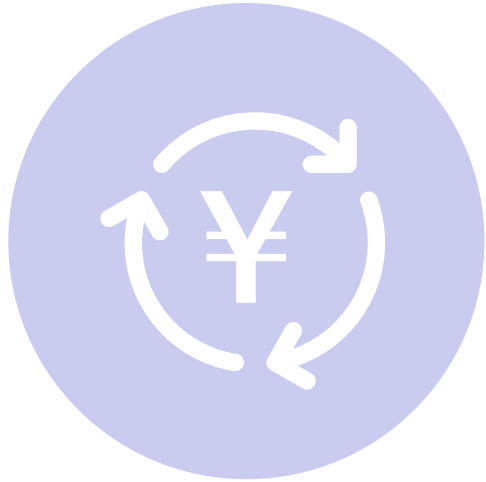


7年連続の
安定増配



- ✓ 7年連続増配
- ✓ 配当性向30%以上

Point 1



**売上の7割以上が
ストック型収益**

Point 2



**成長投資
拡大フェーズ**

Point 3



**7年連続の
安定増配**

Search for a Way

次のイノベーションのそばに。



ジーエルテクノホールディングス株式会社
〒163-1130 東京都新宿区西新宿6-22-1
TEL : 03-4212-6677
URL : <https://www.gltechno.co.jp>

免責事項

本資料に記載されている資料には、将来に関する業績の見通しを含みますが、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々なリスクや不確定要素に左右されるため、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があります。

本資料の著作権は、ジーエルテクノホールディングス株式会社に帰属します。事前の承諾なしに著作物を使用することはできません。

Appendix

既存の枠にとらわれない価値創造に挑戦し、“社会に不可欠な技術と価値”を生み出し続ける

[ミッション]

存在意義

人と社会の可能性を触発する

ジーエルテクノグループは、創業当初より「信頼し合える仲間が集まり、人がこの世に生まれた意義を追求すること」を根本精神としており、組織の成り立ち自体が、人がもつ可能性を触発する挑戦でもあったといえます。自らの成長のみならず、産業や社会の発展の可能性をも触発する存在でありたい。その思いは今も変わることはありません。私たちは創業の理念を受け継ぎ、その使命に向かって挑戦し続けます。

[ビジョン]

将来目指す理想の姿

枠にとらわれない自由な価値創造に挑戦する

ジーエルテクノグループは、創業より半世紀を超える歩みを重ねてきましたが、前例や既成の事業領域に縛られることなく、グループを構成する一人ひとりが自身で思考しながら、新しい価値創造に取り組んでいます。

[コーポレートメッセージ]

企業メッセージ

Search for a Way

次のイノベーションのそばに。

お客様のために、社会のために。そして自分たちの成長に向けて、常によりよい手段・手法を探し続けていきます。いつの時代も科学の発展と人々の暮らしを支え、社会に貢献していきます。

Search for a Way 次のイノベーションのそばに。

私たちは、長年培ってきた技術力と現場力を通じて
科学の発展と人々の暮らしを支え、
社会に貢献し続けることを目指します。

社会に必要な
技術と価値を
生み出し続ける

2019.3 – 2021.3
2021年3月期
実績

売上高 292億円
営業利益 38億円

2019年3月末 時価総額
174億円

2022.3 – 2024.3
2024年3月期
実績

売上高 371億円
営業利益 57億円

2024年10月
ホールディングス設立時
時価総額
488億円

2025.3 – 2027.3
2027年3月期
計画

売上高 500億円
営業利益 77億円

2026年6月末 時価総額※
816億円

企業価値の向上



社会への貢献



収益の拡大



株主様への還元